

令和3年2月1日

米沢市立病院・三友堂病院新病院建設工事に係る
エネルギーサービス事業者選定公募型プロポーザル審査結果報告書

米沢市立病院・三友堂病院新病院建設工事に係る
エネルギーサービス事業者選定公募型プロポーザル選定委員会

委員長 山下 哲郎

副委員長 笈 淳夫

仁科 盛之

穂坂 雅之

田林 義則

渡邊 孝男

大串 雅俊

渡辺 勅孝

渡邊 総一郎

米沢市立病院・三友堂病院新病院建設工事に係るエネルギーサービス事業者選定公募型プロポーザルについて、次のとおり審査結果を報告します。

1 審査結果

米沢市立病院・三友堂病院新病院建設工事に係るエネルギーサービス事業者選定公募型プロポーザル選定委員会（以下、「選定委員会」という。）は、厳正かつ公正に審査を行った結果、次の者を最優秀提案事業者及び優秀提案事業者に決定しました。

順位	最優秀提案事業者	次点者	第3位
参加者名	E者（高砂熱学工業・東北エネルギーサービス共同企業体）	C者（関電エネルギーソリューション）	A者
実績・体制評価点 （配点：25点）	18.61	19.41	18.36
信頼性評価点 （配点：40点）	35.00	32.36	30.55
社会性評価点 （配点：5点）	3.88	3.47	3.33
経済性評価点 （配点：30点）	21.66	23.33	21.66
評価点合計 （配点：100点）	79.15	78.57	73.90

2 審査過程

(1) プロポーザル実施方法の決定

令和2年6月19日に開催した第1回評価委員会において、委員9名全員出席のもと、米沢市立病院・三友堂病院新病院建設工事に係るエネルギーサービス事業者選定公募型プロポーザル実施要項に基づく実施手順を確認し、プロポーザル公告の手続き、技術提案書作成方法、審査基準などについて決定しました。

(2) 公告

令和2年7月6日に「公募型プロポーザル手続き開始の公告」を米沢市立病院及び三友堂病院のホームページに掲載しました。

(3) 資料の貸出

令和2年7月6日より秘密保持誓約書の提出の条件の元、基本設計図書の資料の貸出を行いました。

(4) 一次審査に関する質問書の提出

質問書の提出期限である令和2年7月13日までの間に、5者から質問書の提出がありました。

(5) 質問書への回答

令和2年7月20日に、米沢市立病院及び三友堂病院のホームページにおいて、質問に関する回答を掲載しました。(参加表明に関する質問のみ)

(6) 参加表明書の提出

令和2年7月6日から令和2年7月27日までの間で募集した結果、5者から参加表明書の提出がありました。

(7) 参加資格審査結果の通知、プロポーザル関係書類提出の要請

参加資格審査は、参加表明書の提出のあった5者について参加資格を確認するための作業であるため、選定委員会は開催せず、評価委員会事務局で参加資格を確認しました。その結果5者の全てが参加資格を有することが認められたため、令和2年8月3日に、参加資格申請書審査結果通知書を5者に交付するとともに、技術等審査の参加を要請しました。

(8) 技術等審査に関する質問書の提出

質問書の提出期限である令和2年8月17日までの間に、5者全てから質問書が提出されました。

(9) 質問書への回答

令和 2 年 8 月 17 日に、電子メールにおいて、質問に関する回答をしました。(8 月 5 日までに届いた技術等審査に関する質疑)

(10) 質問書への回答

令和 2 年 8 月 30 日に、電子メールにおいて、質問に関する回答をしました。(8 月 17 日までに届いた技術等審査に関する質疑)

(11) プレゼンテーション及びヒアリング方法の決定

プレゼンテーション及びヒアリングについては、米沢市内で開催するものの、新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため一般公開せず、後日ホームページへの公開とすることを、令和 2 年 9 月 23 日にホームページにて通知しました。

(12) 辞退届の受理

技術提案書の提出期限である令和 2 年 9 月 23 日までの間に、2 者から辞退届が提出され、受理しました。

(13) 技術提案書の提出

技術提案書の提出期限である令和 2 年 9 月 23 日までの間に、3 者から技術提案書が提出されました。

(14) 追加資料の提出依頼

技術提案書の内容について審査委員より追加判断資料の要望があり、令和 2 年 10 月 2 日に、3 者へ追加資料の提出指示を電子メールにて行いました。

(15) 追加資料の受理

令和 2 年 10 月 5 日までの間に、3 者から追加資料が提出されました。

(16) 技術等審査

技術等審査は、令和 2 年 10 月 10 日に開催した第 2 回評価委員会において、委員 9 名全員出席のもと、次の手順で実施しました。

- ・ 参加資格等審査を通過した 3 者から、個別にプレゼンテーション及びヒアリング（質疑応答）を行いました。
- ・ プレゼンテーションでは、特にアピールしたい点などについて 20 分以内での説明を求め、その後、委員による 40 分間のヒアリングを行う形式で実施しました。
- ・ 3 者のプレゼンテーション及びヒアリングが終了した後、同日に技術提案書における審査を非公開で実施しました。
- ・ 技術提案書における審査においては、まず全体を通じた意見交換と審査基準の再確認を行いました。その後、評価委員各々で技術提案書とヒアリングにおける質疑応答を元に、各項目の採点を行いました。最終的に、各委員の採点結果を集計し、技術提案の評価点

を算出しました。

技術提案書の採点は「米沢市立病院・三友堂病院新病院建設工事に係るエネルギーサービス事業者選定公募型プロポーザル実施要項」で求めている下記の技術提案の項目毎に行いました。

ア 実績・体制（配点 25 点）

- ① 実績
- ② 体制
- ③ 取組姿勢

イ 信頼性（配点 40 点）

- ① システム構成
- ② 耐久性・耐震性
- ③ サポート・メンテナンス
- ④ 事業継続性

ウ 社会性（配点 5 点）

- ① 環境性

エ 経済性（配点 30 点）

- ① コスト

(17) 最終結果の通知

最終審査結果については、令和 2 年 10 月 14 日に、米沢市立病院及び三友堂病院のホームページに掲載し、また各参加者へ結果を通知しました。

3 審査の講評

今回の米沢市立病院と三友堂病院の整備計画は、それぞれの医療機能を再整備して、公立と民間の二つの病院を同一の敷地に隣接して建てるという、これまでにはないプロジェクトです。両病院で利用するアメニティセンター外部事業者も事業主として参加し、更に病院本体側の施工予定者が別途選定されており、非常に関係者が多く複雑なプロジェクトでもあります。エネルギーサービス事業としては、米沢という豪雪地帯に高度な技術を活用したエネルギーセンターの建築・設備等の設計、施工、運転・保守・維持管理を行うことで、長期にわたる病院建物のライフサイクルコストと環境負荷の低減を図ることが求められました。そうした難しい条件にもかかわらず、3 者から意欲的な技術提案書が提出され、評価委員会として真摯に審査に取り組みました。

全体として、今回のプロポーザルに参加した 3 者とも、業務を実施するのに十分な業務体制を有していると評価されました。技術提案については、いずれの案も緊急時の体制や事業継続性、周辺環境への配慮等について提案されており、今回の事業の条件に十分に配慮されていました。

以下技術提案書の審査講評です。

E 者（最優秀）

基本設計を改良した温度成層型蓄熱層を用いたシステムを軸とした提案で、技術的根拠を十分に提示し、質問に対しても的確に回答しており高く評価しました。

採点の結果、信頼性（システム構成、サポート・メンテナンス）や社会性（環境性）が高く評価されました。一方で、経済性（コスト）については全体事業費が高く、やや選定委員の理解を得ることができませんでしたが、総体的に最も高い評価となりました。

C 者（次点）

ES 事業の実績数、蓄熱層を取りやめたシステムの提案によるコスト削減の効果は評価されましたが、熱源機器故障時の能力にやや不安が示されました。

採点の結果、実績・体制（実績数）や、経済性（コスト）が高く評価されました。一方で、信頼性（システム構成）などで選定委員の理解を得ることができなかつたために、総体的に低い評価となりました。

A 者

提案書はわかりやすく、具体的な事業の実施体制は評価されましたが、常駐者数等サポート・メンテナンスの面で不安が示されました。

採点の結果、実績・体制（体制）は高く評価されましたが、信頼性、社会性、経済性の内容について選定委員の理解を得ることができなかつたために、総体的に低い評価となりました。

最後になりますが、限られた期間にも関わらず、非常に密度の高い、優れた提案を作成された各参加者の熱意と尽力に、選定委員一同心より感謝を申し上げます。

以上